地方債現在高

年度を越えて償還する借入金を地方債といいます。

2年度の地方債残高は、元年度から9億7,845 万円増え、200億4,785万円となっています。

		現在高	前年度増減	
地方債現在高		200 億 4,785 万円	+9億7,845万円	
内訳	一般会計	124 億 1,025 万円	+9億3,312万円	
	水道事業会計	30 億 6,950 万円	+ 6,467 万円	
	下水道事業会計	45 億 6,809 万円	1,934 万円	

特別会計

特定の事業を行うために、 一般会計とは別に経理するもの

区分	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	34 億 3,400 万円	32 億 6,468 万円
介護保険特別会計	28 億 9,225 万円	28 億 2,614 万円
後期高齢者医療特別会計	4億7,975万円	4億6,045万円

企業会計

独立採算により経理するもの

区分		収入	支出
水道事業	収益的収支	4億6,011万円	4億4,569万円
会計	資本的収支	2億5,790万円	5 億 688 万円
下水道	収益的収支	5 億 6,154 万円	4億7,840万円
事業会計	資本的収支	3億7,428万円	5 億 8,785 万円

財産

町の財産には、土地などの不動産、 有価証券などの動産と、貯金である 11の基金があります。

基金は、法律や条例に基づき特定の目的のため積み立てています。2年度末の合計は、19億3,970万円です。

	現在高	前年度増減
土地 (m²)	405,225	- 33,524
建物 (m³)	107,994	— 1,894
山林 (町有林) (㎡)	1,000	±0
有価証券 (千円)	3,300	±0

基金名(目的)	現在高	前年度増減
財政調整基金 (一般会計の年度間の収入の調整)	5 億 7,385 万円	- 1 億 441 万円
町債償還基金 (地方債の償還)	1億7,357万円	+ 12 万円
土地開発基金 (公共用の土地の事前取得)	2 億 9,972 万円	+34万円
大規模地震災害対策基金 (災害予防や被災者支援)	2億7,884万円	- 940 万円
地域福祉基金 (地域福祉の増進)	1億6,055万円	+ 11 万円
用品調達基金 (事務用品などの集中購買)	200万円	±0円
国民健康保険財政調整基金 (国民健康保険の健全な財政運営)	5,196 万円	+3万円
介護保険事業運営基金 (介護保険事業の健全な財政運営)	2億3,993万円	+ 2,570 万円
公共施設維持管理基金 (公共施設の維持管理)	1億 5,027 万円	+ 3,007 万円
森林環境譲与税基金 (木材の利用促進)	288 万円	+ 175 万円
新型コロナウイルス感染症対策資金利子 補給基金(中小企業者への融資利子の補給)	609万円	+ 609 万円
合計	19 億 3,970 万円	4,958 万円

令和2年度

まちの家計簿

Masaki's economy

松前町のお金の使い方

●財政課財政係 (一般会計) ☎ 985-4101保険課保険料係 (特別会計) ☎ 985-4227

上下水道課業務係(企業会計) ☎ 985-4126

一般会計歳入

一般会計の歳入は、155億1,051 万円でした。令和元年度と比べると、 33.7%増加しています。

主な理由は、新型コロナウイルス 感染症に対応するための国庫支出金 (特別定額給付金など)の増加、ふ るさと納税寄附金の増加、中学校改 築や各施設の省エネ改修に係る工事 に対する地方債の借入額の増加によ ります。

また、財源の内訳は、町で賄う自 主財源が 35.1%、国や県に頼った依 存財源が 64.9%となりました。

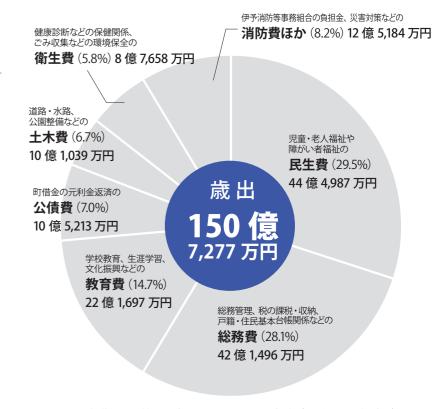
消費税徴収による県からのお金など 地方消費税交付金ほか(5.4%) 事業を行うための県から 8億4,957万円 の負担金・補助金 県支出金 (5.4%) 8億4,435万円 皆さんや会社が納める 税金 市町村間での財源の不均衡 調整に国から交付されるお金 地方税 (28.3%) 地方交付税 (9.3%) 43 億 8,652 万円 14 億 3,717 万円 前年度の予算執行の 歳 入 結果残ったお金 繰越金 (2.3%) 町の借金 3 億 5,107 万円 地方債(12.4%) 1,051 万円 19 億 1,939 万円 事業を行うための国からの 負担金・補助金 国庫支出金(32.5%) 貯金である基金などから 一般会計へ繰入れるお金 50 億 3,866 万円 繰入金ほか (4.4%) 6億8,375万円

一般会計歳出

一般会計の歳出は、150億7,277 万円でした。令和元年度と比べると、 34.0%増加しています。

主な理由は、特別定額給付金事業などによる総務費の増加、中学校改築やGIGAスクール構想に対応するための各小中学校へのタブレット端末の整備などによる教育費の増加によるものです。

令和 2 年度の歳入との差し引きは、 4 億 3,773 万円の黒字となりましたの で、翌年度へ繰り越します。



※1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

⑪ 2021-8 ❖ 広報 まさき